

【8月3日 天候：晴れ コースコンディション：ドライ】

2025FIM世界耐久選手権“コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース第46回大会が8月1日から3日に三重県・鈴鹿サーキットで行われた。8月3日はいよいよ決勝レース、8時間にわたる耐久という名のスプリントレースだ。

決勝に向けて午前8時半から45分間のウォームアップ走行が行われ、レオン・ハスラム選手、マーセル・シュロッター選手、水野涼選手の順でライディング。レオン選手の2分7秒649のタイムで、このセッションを7番手で終えた。

決勝レースが11時半にスタート。スタートライダーを務めるレオン選手はやや出遅れてしまい、オープニングラップを18位で戻ってくる。その後は2分8秒台で走り、15周目にはポジションを8位まで上げてくる。レオン選手は22周してピットイン。マーセル選手にライダー交代する。マーセル選手も安定した走りを見せ、35周目には2分7秒990というハイペースで周回を重ねる。その後、再びレオン選手に交代し、5位まで順位を上げていく。その後、マーセル選手が4位にポジションを上げ、順調に見えたが15時7分にMCシケイン入口で転倒してしまう。ピット内にマシンを入れ、メカニックが修復作業を開始。15時31分にピットロードへ修復されたマシンが出され、水野選手がライディングしてコースに戻り、2分10秒台から9秒台でラップして40位あたりを走行。35位まで順位を上げて110周目にピットへ戻ってくる。さらにレオン選手がライディングしたが、10周で戻ってきてしまい、マシンをピット内で修理。再びレオン選手がコースに戻る。その後はアクシデントもなく走り切り、29位でチェッカーを受けた。



【コメント】

■水野涼

今週、3人が揃ったのが初めてというところからレースウィークが始まって、マシンのセットアップもなかなかうまく進まず、昨日のトップ10トライアルも、その手前の予選もなかなかうまくいかない状況でした。そうした状況の中でもできる限りのことをみんなでやっていた、という雰囲気が自然とできあがりまして。さらに自分も身体の状態が万全ではなく、2人が最初に2回ずつ走ってくれて、スタートは出遅れましたが、表彰台が見える位置まで追上げられたことは、置かれた状況から考えると、とても良かったと思います。転倒から順位を落としてしまったのは残念でしたが、それが逆に、絆が深まった感じがしました。今回は自分の身体が万全ではなかったですし、初日はまったく思うように乗れないところから、決勝のラストスプリントでは2分8秒台で周回することもできたので、今後に向けても自信になりましたし、いつもは8耐が終わると「もう来年は出たくない」って思うのですが、今年は「ぜひ来年もう一度このメンバーでリベンジしたい」って思っています。

■マーセル・シュロッター

最初は結構いい感じだったんです。でも途中から、うまくいけなくなりました。バイクに少しエラーが出てしまい、それはピットストップのたびに同じように起きてしまいました。低回転からスロットルを開けると、まるでバイクが燃料をうまく吸わないかのように加速しない状態でした。それでも僕たちは4位までポジションを戻し、ペースも悪くなかったし、僕たちライダー全員、本当に攻めていたと思います。最初のスプリントは本当にきつかったです。完全に限界でした。でもそれもそのはずで、この週末はまったくリズムを作ることができなかったんです。連続して4周以上走れたことがなかったので、身体もレース仕様に仕上がっていませんでした。そんな中で気温の高い午後いきなり26周から27周というスプリントに入ったんですから、本当に過酷でした。2回目のスプリントはだいぶ体も慣れてきて、ペースも良くなっていました。それでも特定の場面ではバイクに苦しめられました。前車を抜くには、ブレーキがコーナーで仕掛けなければならないし、直線ではなかなか抜けない。普通は簡単に抜けるはずなのですが、今日の僕たちのバイクは加速力が足りなくて、スロットルを開けてもすぐに反応しませんでした。それでもヤマハやスズキ、HRCのファクトリーチームと比較して、僕たちのペースは遜色なかったし、他のチームがミスをしている中で、僕たちはそこに食らいついていました。これは、チームやマシンに素晴らしいポテンシャルがある証拠だと思っています。でも本当に、この週末は何ひとつ思い通りに進みませんでした。メカニックたちは夜遅くまで作業して、朝早くからまた準備に追われていましたし、僕たちライダーもろくに準備ができないまま、それでも全力でプッシュしていました。トップ10トライアルにも出て、悪くないタイムも出せました。でも僕の感覚としては、「僕たちはファクトリーチームの2つに次ぐ、3番目のチームになれたはずだ」と思っています。そして、それが来年の目標でもあるべきです。正直に言って、僕は来年も戻ってきたいし、戻ってきてチームをもっと助けたいと強く思っています。でも、今日は僕がチームのレースを台無しにしてしまった。そのことが本当に残念です。周遅れを交わしながら走っていて、彼らを抜いてヘアピンに差しかけたとき、一人のライダーがワイドに膨らんできたので僕はイン側のラインで抜こうとしたんです。すると、立ち上がりで突然接触があって…。僕は左側にいて相手が見えなかったの、どこから来たのか、ぶつかったのか、それとも向こうが突っ込んできたのか…。本当に不可解な接触でした。でも、とにかく起きてしまった。チームには本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。ペースも良かったし、表彰台は確実に狙える位置にいました。だからこそ、なおさら悔しいです。正直に言って、チームをがっかりさせてしまったと感じています。これに関して、言葉では足りない。本当に、来年またここに帰ってきて、もっと良い形で力になれたらと思っています。でも、これが現実です。本当に申し訳なく思っています。それでも、チーム全員には誇りを持っています。全員がベストを尽くしてくれました。問題だらけの厳しい週末でも、僕たちは戦っていました。それはこのチームの素晴らしい可能性を示していますし、チームにはそれを信じて、前に進んでほしいと思います。そして今回、僕を招いてくれた就臣さん、チームのみなさん、本当にありがとうございます。この環境で僕たちライダーを支えてくれて、準備を整えてくれて、ハードな状況の中で常に力になってくれました。本当に感謝しています。みなさんがいなければ、もっともっと大変だったと思います。

SNS ACCOUNT



@SdgMSOfficial



@sdgrider



SDG Co., Ltd.

【8月3日 天候：晴れ コースコンディション：ドライ】



【コメント】

■レオン・ハスラム

スタート時にちょっとしたエラーが出てバイクが始動せず、かなり順位を落としてしまいました。でも僕のスティントの終わりには8番手までポジションを上げられましたし、いい走りができたと思います。そして第3スティントで再び走ったときには4位まで順位を上げることができ、前を走っていた3位のチームより速いラップが出せていたので、そこも良かったですね。マーセルのときに遅いライダーに引かかる場面がありましたが、それでも僕たち3人のペースは非常に強力で、表彰台をねらえる内容だったと思っています。だから、結果にはがっかりしていません。鈴鹿8耐はいろんなことが起こるものですし、チームはとても良い仕事をしてくれましたし、ライダーたちはさらに素晴らしい走りを見せてくれたと思います。僕としてはとても良い8時間レースでした。ただ、望んでいた結果ではなかったというだけです。

■ SDG-DUCATI Team KAGAYAMA 加賀山就臣監督

本当に、ライダー、そしてチームスタッフに申し訳ない気持ちでいっぱいです。トップレベルのライダーが揃ってくれて、マシンもドゥカティのファクトリー車。それぞれのポテンシャルをフルに発揮できる状況が作れば、表彰台争いを展開する力は十分あったのに、それができませんでした。それは一重に自分の力不足で、具体的に言えば、もっとドゥカティ本社と密に連絡を取り合い、電子制御の部分に関する情報を、細かく聞いておけば良かったということです。最新のアップデートされたデータももらいながら、それを活かすことができず、チームはなかなか前に進むことができませんでした。それでもだれひとり文句を言わず、前に進もうと寝る時間を惜しんで作業に没頭してくれました。本当に感謝しています。また5月のマシン焼失後、クラウドファンディングをスタートさせ、応援して下さる新しいファンの方々にも支えられる嬉しさも、経験しています。そうした方々、さらに従来から支援いただいている企業、個人の方々のためにも来年はぜひ、このメンバーで表彰台に上がりたいと思っています。応援、本当にありがとうございました。苦しい戦いでしたが、引き続き前を向いて進んでいきます。

SNS ACCOUNT



@SdgMSOfficial



@sdgrider



SDG Co., Ltd.

鈴鹿 8 時間耐久ロードレース

【8月3日 ウォームアップ走行 結果表】



The 46th "Coca-Cola" Suzuka 8 hours Endurance Race, July 30 – August 3, 2025

Suzuka 8 Hours Suzuka Circuit (5.821 km)
 Warm Up Classification on the best lap

Pos.	N°	Nat	TEAM	Cat	Bike	Model	BEST LAP	IN LAP	GAP 1st	GAP Prev	IDEAL LAP TIME
1	21		YAMAHA RACING TEAM	EC	Yamaha	YZF - R1	02:06.813	12	-	-	02:06.403
2	1		YOSHIMURA SERT MOTUL	EC	Suzuki	GSX-R1000R	02:06.986	17	00.173	00.173	02:06.780
3	73		SDG Team HARC-PRO. Honda	EC	Honda	CBR1000 RR-R	02:07.200	3	00.387	00.214	02:07.161
4	11		Kawasaki Webike Trickstar	EC	Kawasaki	ZX 10R	02:07.403	3	00.590	00.203	02:07.403
5	37		BMW MOTORRAD WORLD ENDURANCE TEAM	EC	BMW	M 1000 RR	02:07.519	16	00.706	00.116	02:07.027
6	0		Team SUZUKI CN CHALLENGE	EC	Suzuki	GSX-R1000R	02:07.607	9	00.794	00.089	02:07.408
7	3		SDG-DUCATI Team KAGAYAMA	EC	Ducati	Panigale V4 R	02:07.649	18	00.836	00.042	02:07.280
8	7		YART - YAMAHA	EC	Yamaha	YZF - R1	02:07.741	4	00.928	00.092	02:07.006
9	78		AutoRace Ube Racing Team	EC	BMW	M 1000 RR	02:07.767	4	00.954	00.026	02:07.767
10	17		Astemo Pro Honda SI Racing	EC	Honda	CBR1000 RR-R	02:07.795	3	00.982	00.028	02:07.503
11	40		TeamATJ with docomo Business	EC	Honda	CBR1000 RR-R-SP	02:07.839	6	01.026	00.044	02:07.097
12	71		Honda Dream RT SAKURAI HONDA	EC	Honda	CBR1000 RR-R	02:08.034	9	01.221	00.195	02:07.847
13	95		S-PULSE DREAM RACING	EC	Suzuki	GSX-R1000R	02:08.190	9	01.377	00.156	02:07.649
14	30		Honda HRC	EC	Honda	CBR1000 RR-R-SP	02:08.300	3	01.487	00.110	02:07.614
15	8		ERC Endurance #6	EC	BMW	M 1000 RR	02:08.380	3	01.567	00.080	02:07.461
16	5		F.C.C. TSR Honda France	EC	Honda	CBR1000 RR-R	02:08.752	14	01.939	00.372	02:08.192
17	20		Honda Suzuka Racing Team	EC	Honda	CBR1000 RR-R-SP	02:08.765	9	01.952	00.013	02:08.577
18	4		Tati team AVA6 racing	EC	Honda	CBR1000 RR-R	02:08.908	3	02.095	00.143	02:08.678
19	50		MARUMAE Team KODAMA	EC	Yamaha	YZF - R1	02:09.173	4	02.360	00.265	02:08.993
20	25		Team Étoile	EC	BMW	M 1000 RR	02:09.205	5	02.392	00.032	02:09.146
21	99		Eif Marc VDS Racing Team / KM99	EC	Yamaha	YZF - R1	02:09.334	3	02.521	00.129	02:09.055
22	88		Honda Asia-Dream Racing with Astemo	EC	Honda	CBR 1000 RR-R	02:09.538	5	02.725	00.204	02:08.971
23	59		Team BabyFace Titanium Power	EC	Yamaha	YZF - R1	02:09.672	4	02.859	00.134	02:09.607
24	112		Honda Tochigi Racing & Koyukai DREAM RT	EC	Honda	CBR1000 RR-R	02:09.699	7	02.866	00.027	02:09.486
25	777		Wójcik Racing Team #777 SST	EC	Honda	CBR1000 RR-R	02:09.938	10	03.125	00.239	02:09.318
26	93		TONE Team 4413 EVA 02 BMW	EC	BMW	M 1000 RR	02:10.087	11	03.274	00.149	02:09.963
27	44		Honda No Limits	EC	Honda	CBR1000 RR-R	02:10.276	3	03.463	00.189	02:09.357
28	711		BAKUONIRPT NAGANO & RT MATSUNAGA	EC	Yamaha	YZF - R1	02:10.558	4	03.745	00.282	02:10.011
29	45		SHINSUYUREN with TOTEK	EC	BMW	M 1000 RR	02:10.799	7	03.986	00.241	02:10.558
30	41		Kaedear-Dafy-Rac41-Honda	EC	Honda	CBR1000 RR-R	02:10.908	3	04.094	00.109	02:10.666
31	84		Kawasaki Plaza Racing Team	EC	Kawasaki	ZX 10R	02:11.056	13	04.243	00.148	02:11.030
32	52		NCXX RACING with RIDERS CLUB	EC	Yamaha	YZF - R1	02:11.100	4	04.287	00.044	02:10.832
33	85		Motobox Kremer Racing #65	EC	Yamaha	YZF - R1	02:11.142	4	04.329	00.042	02:11.015
34	23		KRP SANYOUKOUYO&RS-ITOH	EC	Kawasaki	ZX 10R	02:11.501	6	04.688	00.359	02:10.572
35	55		NATIONAL MOTOS HONDA FMA	EC	Honda	CBR1000 RR-R	02:11.524	4	04.711	00.023	02:11.335
36	19		Team TATARA aprilia	EC	Aprilia	RSV4	02:12.095	10	05.262	00.571	02:11.816
37	49		Revo-M2	EC	Aprilia	RSV4	02:12.149	5	05.336	00.054	02:11.466
38	9		SANMEI Team TARO PLUSONE with SDG	EC	BMW	M 1000 RR	02:12.866	5	06.053	00.717	02:11.524
39	56		AOSHIMA MEGU with HAMAGUCHI Racing	EC	Yamaha	YZF - R1	02:12.875	14	06.062	00.009	02:12.154
40	78		Honda Blue Helmets MSC Kumamoto & Asaka	EC	Honda	CBR1000 RR-R	02:13.058	5	06.245	00.183	02:12.744
41	75		Honda Kumamoto Racing & Hamamatsu ESCARGOT	EC	Honda	CBR1000 RR-R-SP	02:13.212	12	06.399	00.154	02:13.016
42	13		Taira Promote Racing	EC	Honda	YZF - R1	02:13.420	15	06.607	00.208	02:12.800
43	828		TEAM FRONTIER	EC	BMW	S 1000 RR	02:14.017	12	07.204	00.597	02:13.631
44	15		IWATA RACING FAMILY	EC	Yamaha	YZF - R1	02:14.603	11	07.790	00.586	02:14.352
45	89		CLUBNEXT&HONDADREAMTAKASAKI	EC	Honda	CBR1000 RR-R-SP	02:14.804	8	07.791	00.001	02:14.281
46	31		TEAM SUGAI RACING JAPAN	EC	Honda	CBR 1000 RR-R	02:14.609	6	07.796	00.005	02:14.198
47	57		NICHIRIN RACING	EC	Yamaha	R1 - RN65	02:15.131	7	08.318	00.522	02:14.831
48	503		EDWIN GESUNDHEIT Racing	EC	Honda	CBR1000 RR-R-SP	02:15.542	3	08.729	00.411	02:15.396
49	46		MOTORCYCLES#27 EJ YIC	EC	Honda	CBR1000 RR-R-SP	02:15.707	3	08.894	00.165	02:15.132
50	29		DOG HOUSE&TRIPOINT FUCHS Silkolene	EC	Suzuki	GSX-R1000R	02:15.839	5	09.026	00.132	02:15.636
51	38		Team38	EC	Kawasaki	ZX 10R	02:15.861	14	09.048	00.022	02:15.476
52	66		BALZ & ADVANCE MC with FUJIKI KOGYO	EC	Honda	CBR1000 RR-R-SP	02:15.993	3	09.180	00.132	02:15.110
53	16		Team Etching Factory	EC	Yamaha	YZF - R1	02:16.688	4	09.855	00.675	02:16.311
54	411		Team Matsunaga KDC&YSP Nagoya kita	EC	Yamaha	R1 - RN65	02:18.380	7	11.567	01.712	02:17.596
55	28		Verity OIL & fenice KT with KIRINJISHI	EC	Yamaha	YZF - R1	02:20.687	6	13.874	02.307	02:19.886

Best time Overall : 02:06.813 (165.2 km/h), (No. 21) YAMAHA RACING TEAM
 Best time EWC : 02:06.813 (165.2 km/h), (No. 21) YAMAHA RACING TEAM
 Best time EXP : 02:07.607 (164.2 km/h), (No. 9) Team SUZUKI CN CHALLENGE
 Best time SST : 02:09.205 (162.1 km/h), (No. 25) Team Étoile

Clerk of the Course
KIYOTAKA TSUBOI

坪井 清貴

03/08/2025 09:32

Chief Timekeeper
SEBASTIEN MASCRET



03/08/2025 09:30



